

9月1日（月） 2学期始業式 校長先生の話

今日の朝、門や昇降口で元気な皆さんに会って、うれしい気持ちになりました。皆さんは、夏休み、どんなことをして過ごしましたか。楽しい思い出ができましたか。1学期の終業式に、校長先生から「夏休みだからこそ、チャレンジしよう」という話をしました。皆さんが夏休みにチャレンジしたことを、ぜひ教えてください。

校長先生の夏休みのチャレンジは2つ、「本を10冊読むこと」と「芳川の町を探検すること」でした。本は結局、11冊読みました。芳川の町を探検して驚いたのは、お寺や神社がたくさんあったことです。全部で25個もありました。芳川の町には、どうしてお寺や神社がたくさんあると思いますか。思いついた人は校長先生に考えを教えてください。

さあ、今日からいよいよ2学期のスタートです。皆さんは、2学期に向けて、目標を決めましたか。何かを始めるときに目標を決めるのは、やる気につながる大切なことです。

では皆さんは、目標を決める時にどうやって決めていますか。自分で決めるのが好きですか。人に決めてもらうのが好きですか。今日の校長先生のお話は、「自分のことは自分で決めよう」というお話です。

校長先生は本で調べてみました。人間は1日の中でたくさん決めているそうです。「どの服を着ようかな」「手を挙げようかな、どうしようかな」と迷うことがあるでしょう。人間は1日に何と「35000回」も何かを決めているそうです。その中には、人に決めてもらうこともあります。自分のことを自分で決めると、よいことがたくさんあります。

その中の一つは、「自信が付く」です。自分で決めると、うまくいけばうれしいし、うまくいなくても、次もまた頑張るぞという気持ちが湧いてきます。

もう一つは、「人のせいにしなくなる」です。人のせいにしないということは、人を嫌いにならないだけでなく、自分のことを好きになります。

でも、自分で決めるのが苦手な人もいます。「何でもいい」「どちらでもいい」と思うことはありませんか。校長先生もよくあります。そこで、自分で決める時のヒントを紹介します。

一つは、「自分のためになるか」を考えます。楽なことと難しいことで迷う時、「自分のためになるかな」「自分の未来や幸せにつながるかな」と考えると答えが見つかります。

もう一つは、「相談する」です。友達やおうちの人、先生に相談すると、自分では気付かなかった考えを教えてください。その人たちの考えを聞いて、でも最後には自分で決めるようにしましょう。

今日の始業式のお話は、「自分のことは自分で決めよう」「自信が付いて自分を好きになる」というお話をしました。2学期も、自分の決めた目標に向かってチャレンジする皆さんを応援しています。